



群馬県立県民健康科学大学大学院

2017

Gunma Prefectural Graduate School of Health Sciences



学長 高田 邦昭

群馬県立県民健康科学大学は、群馬県民の「健康生活への夢の実現」という大きな期待を受け、平成17年に開学しました。医療技術の高度化・専門化が進み、県民の医療に対する需要も多様化する中で、本学は地域の医療福祉水準の一層の向上に寄与するため、平成21年に大学院修士課程（現博士前期課程）を開設し、本年4月には第8期生が入学しています。さらに、平成28年には大学院博士後期課程を設置し、一段と高度化していく保健医療や教育の現場で活躍するリーダー（博士）の育成に取り組んでいます。

本学の大学院には、看護学研究科と診療放射線学研究科の二つの研究科があり、看護学・診療放射線学の理論・応用の教授・研究を通じて、高度な知識・技術を身につけます。看護学研究科では、医療機関等における実践的指導者養成とともに、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を養成します。診療放射線学研究科では、高度な医療機器に対応する人材養成とともに、臨床研究者や教育者ならびに高度医療専門職リーダーの育成を行います。

本学の大学院は、医療の現場で活躍中の方々をはじめとして、社会人にも広く門戸が開かれています。職業を持つ方々のための社会人入試や、入学後も仕事を続けながら計画的に授業を受けられるよう、夜間開講、集中講義等の多様な授業方法を展開しています。

修士、博士をめざす皆さんの入学を心よりお待ちしております。

大学院のあゆみ

平成21年	4月	群馬県立県民健康科学大学大学院 修士課程開設（看護学研究科、診療放射線学研究科）
平成28年	4月	博士後期課程開設（看護学研究科、診療放射線学研究科） 修士課程を博士前期課程に改称



大学院のプロフィール

●看護学研究科

看護学専攻（博士前期課程）

入学定員	修業年限	学 位
8名	2年※	修士（看護学）

※最長4年まで長期履修可

医療機関などで院内教育や管理に携わる実践的指導者となる人材を育成

看護学専攻（博士後期課程）

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士（看護学）

※最長6年まで長期履修可

学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の発展に貢献できる人材を育成

●診療放射線学研究科

診療放射線学専攻（博士前期課程）

入学定員	修業年限	学 位
3名	2年※	修士（放射線学）

※最長4年まで長期履修可

CT・MRI・重粒子線治療など高度化が進む医療機器に対応した高度な知識・技術を持つ人材を育成

診療放射線学専攻（博士後期課程）

入学定員	修業年限	学 位
2名	3年※	博士（放射線学）

※最長6年まで長期履修可

診療放射線学分野の臨床研究者及び教育者、並びに高度医療専門職のリーダーを育成

地域の保健医療水準の向上に寄与します。

社会人の積極的な受入れ

- ▶ 入学試験では、社会人特別選抜試験を実施します。
- ▶ 夜間にも授業を開講し、仕事を続けながら修学できるよう配慮します。
- ▶ 博士前期課程は、2年間相当の授業料のまま修業年限を最大4年まで、博士後期課程は、3年間相当の授業料のまま修業年限を最大6年まで延長できる長期履修制度を設けています。
- ▶ 短期大学、専門学校、各種学校の卒業者に対しても入学試験の出願資格を付与※します。
※本学が行う審査により、受験資格があると認められた方が対象。
- ▶ 科目等履修生となり、入学前に単位を取得することもできます。

看護学研究科 看護学専攻

博士前期課程

Master's Program in Nursing

科学的根拠に基づく実践 (Evidence-Based Practice) の実現を目的とし、より質の高い看護を提供するための教育・研究ができる人材及びスタッフ・ディベロップメント (SD) とファカルティ・ディベロップメント (FD) を支援できる人材の育成を目指します。



実践看護学構築論 I の授業風景

特色

我が国の看護系大学院で初めて、院内教育をコーディネートできる看護職者、つまりスタッフ・ディベロップメント (SD) を担える人材や、大学や専門学校など看護職養成機関の看護学教員のファカルティ・ディベロップメント (FD) を支援できる人材の養成を目指した「看護教育学領域」を設置している点が大きな特色です。

- 看護学研究科に実践看護学領域及び看護教育学領域を置きます。
- より質の高い看護を提供するための教育及び研究を展開します。
- 院内教育を企画し実践できる能力を養う教育及び研究を展開します。
- 看護学教員の教育能力を養うための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 齋藤 基

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
実践看護学領域	教授 肥後 すみ子	看護技術学に関する研究課題
	教授 行田 智子	妊娠期～産褥期・育児期にある人とその家族への看護に関する研究課題
	教授 横山 京子	小児期にある人々への看護、小児看護学教育に関する研究課題
	教授 中西 陽子	がん及び他疾患の急性期・慢性期・終末期にある成人期の人々とその家族への看護に関する研究課題
	教授 狩野 太郎	老年期にある人々への看護、老年看護学に関する研究課題および、がん化学療法看護に関する研究課題
	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題
看護教育学領域	教授 松田 安弘	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護基礎教育・継続教育に関する研究課題

博士前期課程 授業科目

両研究科共通科目

- * 専門職教育展開論Ⅰ [2単位]
- * 専門職教育展開論Ⅱ [2単位]
- * 研究と倫理 [2単位]
- * 教育と倫理 [2単位]
- 診療放射線学特論 [2単位]
- 放射線医療統計解析学 [2単位]
- 放射線画像解剖学特論 [2単位]
- 放射線学シミュレータ特論 [2単位]
- 保健医療特論 [2単位]
- 保健医療安全学特論 [2単位]

実践看護学領域

- 専門科目(必修)**
3科目12単位を履修
- 実践看護学構築論Ⅰ [2単位]
 - 実践看護学構築論Ⅱ [2単位]
 - 看護学演習(実践看護学展開論) [8単位]
- 特別研究**
特別研究 [12単位]
- 専門科目(選択)**
共通科目と合わせ8単位を履修
- 看護教育学Ⅰ [2単位]
 - 看護教育学Ⅱ [2単位]
 - 看護学研究方法論Ⅰ [2単位]
 - 看護学研究方法論Ⅱ [2単位]
 - 看護政策管理論 [2単位]

看護教育学領域

- 専門科目(必修)**
3科目12単位を履修
- 看護教育学Ⅰ [2単位]
 - 看護教育学Ⅱ [2単位]
 - 看護学演習(看護教育学) [8単位]
- 特別研究**
特別研究 [12単位]
- 専門科目(選択)**
共通科目と合わせ8単位を履修
- 実践看護学構築論Ⅰ [2単位]
 - 実践看護学構築論Ⅱ [2単位]
 - 看護学研究方法論Ⅰ [2単位]
 - 看護学研究方法論Ⅱ [2単位]
 - 看護政策管理論 [2単位]

修了要件

本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

実践看護学領域又は看護教育学領域のいずれかを専攻とし、専攻に関連する専門科目3科目12単位と、特別研究12単位を必ず履修し、それ以外の8単位は専門科目(選択)又は*印の両研究科共通科目から選択履修します。この他、修了単位には加算されませんが、*印のない両研究科共通科目を自由科目として履修することができます。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。

博士後期課程

Doctoral Program in Nursing

自立的に研究を行い、看護実践に役立つ専門性の高い知識を産出し、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点をもって看護の機能を発展させることに貢献するとともに、その成果を他の看護職者に普及できる人材の育成を目指します。



実践看護学特論の授業風景

特色

看護の機能の発揮に必要な能力・質の高い教育の提供に必要な能力・研究遂行に必要な能力の修得に関わる専門科目を設定し、これらの履修により得られた学修成果が「特別研究」に統合され、段階的に能力を獲得できるカリキュラムを編成している点が大きな特色です。

- 多職種と協働して組織運営に参画し、管理的機能を発揮するための教育及び研究を展開します。
- 高等教育としての看護教育に精通し、専門的知識・技術と指導力を駆使して質の高い教育を実践するための教育及び研究を展開します。
- 臨床現場に存在する多様かつ複雑な問題の解明とその成果の適用を通し、組織内の研究活動を推進するための教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長●齋藤 基

領域	教員名	研究課題・主な研究テーマ
機能発展 看護学	教授 齋藤 基	地域看護活動、在宅看護活動に関する研究課題
	教授 巴山 玉蓮	看護政策管理に関する研究課題
	教授 松田 安弘	看護教育に関する研究課題
	教授 山下 暢子	看護教育に関する研究課題
	教授 石川 良樹	ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関する研究課題
	教授 宮崎 有紀子	ヘルスプロモーション、健康づくり支援活動に関する研究課題
	教授 高井 ゆかり	老年看護学や疼痛管理に関する研究課題

博士後期課程 授業科目

両研究科共通科目

保健医療組織管理学特論 [2単位]

専門科目 (6単位以上を履修)

〈必修〉
看護政策管理学特論 [2単位]
看護教育学特論 [2単位]
実践看護学特論 [2単位]

〈選択〉
看護専門職の役割と責務 [2単位]
倫理学特別演習 [2単位]
ブレFD特別演習 [2単位]
(大学教員としての基礎)

特別研究

特別研究Ⅱ [6単位]

修了要件

本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(16単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

- (1) 特別研究Ⅱ(6単位)を必修科目として履修します。
- (2) 専門科目のうち、看護政策管理学特論、看護教育学特論、実践看護学特論(3科目6単位)を必修科目として履修します。
- (3) (1)(2)以外の科目(4単位以上)を選択科目として履修します。

※なお、年間の履修単位は10単位(集中講義及び特別研究Ⅱは含めない)を上限とします。

診療放射線学研究科 診療放射線学専攻

博士前期課程

Master's Program in Radiological Technology

特別研究を通じて、診療放射線学の発展に貢献しつつ高度医療専門職者、研究者及び教育者としての基礎的能力を持つ人材を育成します。



機能画像学特論の授業風景

特色

我が国で唯一の「診療放射線学部」を基盤とし、放射線画像検査学、放射線治療学等の臨床に即した学術研究を積極的に行うことにより、人々の健康支援、疾病の早期発見、治療効果の向上に寄与する人材を育成するとともに、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析技術の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 画像評価並びに読影能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 重粒子線治療プロジェクト等に参画可能な研究能力を養う教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線画像検査学	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 画像診断解剖学教育に関する研究
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	准教授 倉石 政彦	診療放射線技師職に関する研究課題 診療放射線技術に関する研究課題
	准教授 高橋 康幸	トレーサー情報解析に関する研究課題
	准教授 根岸 徹	放射線診断装置に関する研究課題
	准教授 長島 宏幸	医用画像処理技術に関する研究課題
放射線治療学	准教授 堀 謙太	コンピュータシミュレーションによる診療放射線学の疑似体験型教育に関する研究課題
	講師 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題

博士前期課程 授業科目

両研究科共通科目

診療放射線学特論	[2単位]
放射線医療統計解析学	[2単位]
放射線画像解剖学特論	[2単位]
放射線学シミュレータ特論	[2単位]
保健医療特論	[2単位]
保健医療安全学特論	[2単位]
専門職教育展開論Ⅰ	[2単位]
専門職教育展開論Ⅱ	[2単位]
研究と倫理	[2単位]
教育と倫理	[2単位]

放射線画像検査学分野

専門科目

6単位以上を履修

磁気共鳴学特論	[2単位]
造影検査学特論	[2単位]
放射線画像技術学特論	[2単位]
放射線画像解析学特論Ⅰ	[2単位]
放射線画像解析学特論Ⅱ	[2単位]
機能画像学特論	[2単位]
核医学検査技術学特論	[2単位]
医療画像情報学特論	[2単位]

特別研究

診療放射線学特別研究	[12単位]
------------	--------

放射線治療学分野

専門科目

6単位以上を履修

放射線治療学特論	[2単位]
先端放射線治療学特論	[2単位]
放射線生物学特論	[2単位]
放射線管理計測学特論	[2単位]
放射線安全管理特論	[2単位]
重粒子治療技術学演習	[2単位]

特別研究

診療放射線学特別研究	[12単位]
------------	--------

修了要件

本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(30単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、所属分野の専門科目から6単位以上と、特別研究12単位を必ず履修し、残りの12単位は他の専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)又は両研究科共通科目から選択履修します。なお、年間の履修単位は24単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。

博士後期課程

Doctoral Program in Radiological Technology

診療放射線学に資する高度な研究能力を有し、研究成果を、群馬県をはじめ全国各地域の放射線診療に創造性をもって展開できる次の人材を育成します。

- 診療放射線学の研究を展開できる臨床研究者の養成
- 高度な教育指導力を備えた大学教員の養成
- チーム医療を積極的に推進できる放射線技術部門のリーダーの養成



診療放射線学特別研究の様子

特色

学士課程から博士前期課程へと続く人間の尊重を重んじた教育を基盤として、臨床に即した学術研究を積極的に遂行することを通じて、人々の健康支援、疾病の予防、治療効果の向上への寄与を目指すと同時に、診療放射線学のさらなる発展に貢献します。

- 診療放射線学研究科に放射線画像検査学分野と放射線治療学分野を置きます。
- 画像処理並びに画像解析の研究開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 高精度放射線治療の実践・推進・開発能力の育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。
- 放射線技術部門のリーダー育成に重点を置いた教育及び研究を展開します。

教育研究領域と担当教員

研究科長 ● 柏倉 健一

分野	教員名	研究課題・主な研究テーマ
放射線 画像検査学	教授 柏倉 健一	脳機能測定に関する研究課題
	教授 青木 武生	膜輸送と放射線の作用に関する研究 画像診断解剖学教育に関する研究
	教授 小倉 明夫	磁気共鳴画像及びMRI検査に関する研究課題
	教授 小倉 敏裕	診療放射線画像の解析に関する研究課題
	教授 上原 真澄	造影検査におけるマイクロデバイス開発に関する研究課題 生体物質の糖化と評価方法に関する研究課題 診療放射線技術における職場教育に関する研究課題
	教授 下瀬川 正幸	医療画像情報学に関する研究課題 診療放射線学教育に関する研究課題
	准教授 高橋 康幸	トレーサー情報解析に関する研究課題
	准教授 根岸 徹	放射線診断装置に関する研究課題 診断用X線装置の品質保証及び計測に関する研究課題
	准教授 堀 謙太	コンピュータシミュレーションによる診療放射線学の擬似体験型教育に関する研究課題
	講師 渡部 晴之	医用画像処理に関する研究課題
放射線 治療学	講師 林 則夫	画像診断検査法及び医用画像解析に関する研究課題
	教授 佐々木 浩二	放射線治療技術学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 杉野 雅人	環境放射線(能)計測および管理・防護に関する研究課題
	准教授 大野 由美子	放射線物理学、放射線計測学に関する研究課題
	准教授 五十嵐 博	放射線治療及び診療放射線部門における組織・品質マネジメントに関する研究課題

博士後期課程 授業科目

両研究科共通科目 (2単位以上を履修)

- 診療放射線学教育学特論 [2単位]
- 保健医療組織管理学特論 [2単位]

放射線画像検査学分野

専門科目

2単位を履修

- 放射線画像解剖学特講演習 [2単位]
- 放射線画像解析学特講演習 [2単位]
- 磁気共鳴学特講演習 [2単位]
- 造影検査学特講演習 [2単位]
- 機能画像学特講演習 [2単位]
- 医療画像情報学特講演習 [2単位]

特別研究

- 診療放射線学特別研究 [6単位]

放射線治療学分野

専門科目

2単位を履修

- 先端放射線治療学特講演習 [2単位]
- 重粒子治療技術学特講演習 [2単位]
- 放射線管理計測学特講演習 [2単位]

特別研究

- 診療放射線学特別研究 [6単位]

修了要件

本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(12単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で博士論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが要件です。

履修方法

放射線画像検査学分野又は放射線治療学分野のいずれかに所属し、共通科目から2単位以上、所属分野の専門科目から2単位以上、特別研究6単位を必ず履修し、残りの2単位は他の共通科目又は専門科目(所属分野以外の専門科目を含む)から選択履修します。なお、年間の履修単位は8単位(集中講義及び特別研究は含めない)を上限とします。

博士前期課程 在学生の声

大学院は、研究を通して看護や管理を学べる場です。

狩野 道子 〈原町赤十字病院勤務〉

看護学研究科看護学専攻 実践看護学領域 (H27年度入学)

私は病院の看護師長をしていますが、自分は管理者としてどうあるべきか迷い続け、「もう一度、看護を学びたい」と思っていました。そんな時、専門学校卒業の私でも「出願資格認定審査」を経ることにより受験資格を得られることを知り、息子の大学卒業を機に受験を決めました。履修期間は、仕事との両立を考え、3年とし長期履修制度を活用しています。

大学院は、主体的な学習を求められます。授業の殆どは、院生のプレゼンテーションで進められるため、理解を深めるためには予習が欠かせません。また、発表に当たった内容には責任があり、念入りの準備が必要となります。大変な時もありますが、共に学ぶ院生に刺激を受け、助けられながら一つ一つ積み上げ

ることができています。また、先生方の「共に学ぶ」という姿勢、仕事や通学に至るまでの配慮などにも励まされ、授業のある日は日頃のストレスを忘れさせてくれます。

当初、大学院は「看護」というより「研究」を学ぶというイメージで、いささか戸惑うこともありましたが、しかし、研究を学ぶことは管理を考えることに繋がり、他の院生の様々な研究テーマに関することに触れることで、看護を幅広く学ぶこともできています。

現在は、病院で勤務する看護職のメンタルヘルスクエアをテーマに研究活動に入っています。メンタルヘルスに支障をきたす要因の一つでも解決できる研究成果を出したいと思っています。



撮影場所：原町赤十字病院

平成28年度 科目等履修学生の募集概要

内容

本学大学院の授業科目を履修し、正規の単位を修得する制度です。科目等履修生として修得した単位は、本学大学院に入学した際には既修得単位として活用することができます。

募集

看護学研究科 若干名
診療放射線学研究科 若干名

履修科目

開講科目の詳細はお問合せください。
(博士前期課程) 1年間に10単位を上限とします。
(博士後期課程) 看護学研究科：1年間に6単位を上限とします。
診療放射線学研究科：1年間に4単位を上限とします。

授業料

1単位当たり14,800円

自分を見つめ直して。

宇梶 智人 (伊勢崎市民病院勤務)

診療放射線学研究科 診療放射線学専攻 放射線画像検査学分野 (H27年度入学)

群馬県立県民健康科学大学の前身である群馬県立医療短期大学を卒業し二十年近く経ち、職場における責任も増す中で自分に必要なもの、足りないものは何かと考えることがありました。また、日進月歩の医療技術分野で、臨床業務における問題点を解決するためにはどのような手順で行えばよいのか研究方法を修得したいと思う気持ちが強くありました。そこで知識を深めるために母校であるこの大学院に進学しようと決意しました。

私の研究内容は『Dual Energy Computed Tomographyを用いた胃がんリンパ節転移の定量評価』です。CT装置の原理・特性、造影理論、放射線画像解剖、放射線画像解析、医療統計と多岐にわたる分野を修得する必要があると考えており、これら

を専門とする教員の指導のもと知識を養うことができています。カリキュラムに対して不安もありましたが先生方の協力、また家族や職場の理解が大きな援助となり、学業に専念できる環境にあることを感謝しています。

講義を通して自分の研究テーマに沿った科目を履修し、研究のスペシャリストである先生方とディスカッションを行い、改善点などアドバイスを戴き、論文作成に向けて地道な努力を積み重ねています。本学での学びを活かし問題点の解決法を論理的、実践的に導きだせるような研究者になれるよう努力していくとともに、医療に携わるものとして医療社会へ貢献できる診療放射線技師を目指したいと思います。



撮影場所：伊勢崎市民病院

入学料・その他費用

なし。
ただし、指定された教材等がある場合、購入費用は自己負担となります。

出願資格

(博士前期課程) 4年制大学卒業またはそれと同程度の学力を有する者。
(博士後期課程) 修士の学位、専門職学位を有する者、またはそれらと同程度の学力を有する者。

出願期間

前期：募集を終了しました。
後期：平成28年8月8日(月)～8月19日(金) 午後5時必着
※出願の際は必ず事前にご相談ください。

選考方法

書類審査のほか、担当教員による面接を行う場合があります。

入試情報

平成29年度 博士前期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	2年(但し、長期履修制度適用の場合は最長4年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 8名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 3名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑤までのいずれかに該当する者 両研究科共通 ① 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者又は平成29年3月31日までに卒業見込みの者 ② 学校教育法第102条第2項に該当する者であって、本学大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認められた者 ③ 学校教育法施行規則第155条第1項第1号から第6号までのいずれかに該当し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められるもの ④ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力がある者と認められたもの ⑤ 本学大学院において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに22歳に達するもの	看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑤までのいずれかに該当するもの (注)出願資格のうち「一般選抜」の②、④又は⑤により出願を行うとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の②、④又は⑤に該当するものとして出願を行うとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成28年7月15日(金)～7月27日(水)(②、④又は⑤により出願を希望する者。7月27日付消印有効)	
出願期間	平成28年8月5日(金)～8月18日(木)(郵送による出願。8月18日付消印有効)	
入学試験 試験期日	平成28年9月3日(土)	
試験会場	群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
選抜方法	看護学研究科 ・「専門科目」 ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「小論文」 ・「面接」 ・書類審査	・「専門科目」 ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「小論文」 ・「面接」 ・書類審査
	診療放射線学研究科 ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成28年9月12日(月)	
入学手続期間	平成28年9月27日(火)～10月3日(月)(郵送、10月3日必着)	
入学試験料	30,000円	
授業料等(平成28年4月1日現在)	入学料(県内者:入学料について群馬県内者は半額)141,000円 (県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間) ・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

【2次募集】

上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成28年10月4日(火)以降に本学ホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料は1次募集と同様です。		
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成28年12月16日(金)～平成29年1月4日(水)(「個別入学資格審査」により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成29年1月13日(金)～1月26日(木)(郵送による出願。1月26日付消印有効)	
試験期日	平成29年2月11日(土・祝)	
合格発表日	平成29年2月17日(金)	
入学手続期間	平成29年2月27日(月)～3月3日(金)(郵送、3月3日必着)	

平成29年度 博士後期課程

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年数	3年(但し、長期履修制度適用の場合は最長6年)	
募集人員	看護学研究科看護学専攻…………… 2名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 2名	看護学研究科看護学専攻…………… 若干名 診療放射線学研究科診療放射線学専攻…………… 若干名
出願資格	次の①から⑧までのいずれかに該当する者、又は次の①から⑧までのいずれかに平成29年3月31日までに該当する見込みの者 両研究科共通 ① 修士の学位又は専門職学位を有する者 ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥ 外国の学校、出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号) ⑧ 本学大学院において個別の入学資格審査により修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに24歳に達するもの	看護学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、常勤で在職している者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの 診療放射線学研究科 保健・医療・福祉施設、教育研究機関、官公庁又は企業において、専門的な実務経験を有し、入学後もその身分を継続する者で、かつ、一般選抜試験出願資格①から⑧までのいずれかに該当するもの (注) 出願資格のうち「一般選抜」の⑦又は⑧により出願を行うとする者(「社会人特別選抜」において「一般選抜」の⑦又は⑧に該当するものとして出願を行うとする者を含む。)は、あらかじめ個別の出願資格認定審査を受け、合格した場合に出願することができる。
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成28年7月15日(金)～7月27日(水)(⑦又は⑧により出願を希望する者。7月27日付消印有効)	
出願期間	平成28年8月5日(金)～8月18日(木)(郵送による出願。8月18日付消印有効)	
入学試験	試験期日 平成28年9月3日(土)	
	試験会場 群馬県立県民健康科学大学(〒371-0052 前橋市上沖町323番地の1)	
	選抜方法 看護学研究科 ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
	診療放射線学研究科 ・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査	・「外国語」(英和辞典の持込み可。但し電子辞書は不可) ・「口述試験」 ・書類審査
合格発表日	平成28年9月12日(月)	
入学手続期間	平成28年9月27日(火)～10月3日(月)(郵送、10月3日必着)	
入学試験料	30,000円	
授業料等(平成28年4月1日現在)	入学料*(県内者:入学料について群馬県内者は半額)141,000円(県外者)282,000円 / 授業料 535,800円(年間) ・夜間開講、集中講義、長期履修制度により、社会人学生の学業と仕事の両立に配慮しています。	

※本学大学院博士前期課程から引き続き博士後期課程に入学される場合は、入学料はかかりません。

【2次募集】

上記日程による入学選抜の結果、入学手続者数が募集人員に達しなかった場合は、以下のとおり2次募集を行います。2次募集の有無については、平成28年10月4日(火)以降にホームページ上で公表します。

選抜区分	一般選抜	社会人特別選抜
修業年限・出願資格・試験会場・選抜方法・入学試験料・授業料	1次募集と同様です。	
出願前面談期間	随時(指導を受けようとする教員と出願前に面談が必要。但し出願資格認定審査が必要な場合は審査出願資格認定審査の申請に間に合うように面談をしてください。)	
出願資格認定審査申請期間	平成28年12月16日(金)～平成29年1月4日(水)(⑦又は⑧により出願を希望する者。1月4日付消印有効)	
出願期間	平成29年1月13日(金)～1月26日(木)(郵送による出願。1月26日付消印有効)	
試験期日	平成29年2月11日(土・祝)	
合格発表日	平成29年2月17日(金)	
入学手続期間	平成29年2月27日(月)～3月3日(金)(郵送、3月3日必着)	

■ 大学院学生募集要項(願書含む)の請求方法

テレメール(インターネット・自動音声応答電話)でご請求ください。

① パソコン・スマホ・ケータイ、電話でアクセスしてください。



パソコン・スマホ・ケータイなら
<http://telemail.jp>



バーコード



自動音声応答電話なら

IP電話 **050-8601-0101** (24時間受付)

② 大学院学生募集要項の資料請求番号を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始日
大学院案内	569480	180円	5月20日
大学院募集要項(看護学研究科)	589480	215円	
大学院募集要項(看護学研究科)・大学院案内	549580	300円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)	600500	215円	
大学院募集要項(診療放射線学研究科)・大学院案内	600510	300円	

※料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従い、表示料金をお支払いください。(支払いに際して手数料が別途必要となります。) 料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので予めご了承ください。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

テレメールのパスワードをお持ちの方は不要です。

請求してから2~3日後に資料が届きます

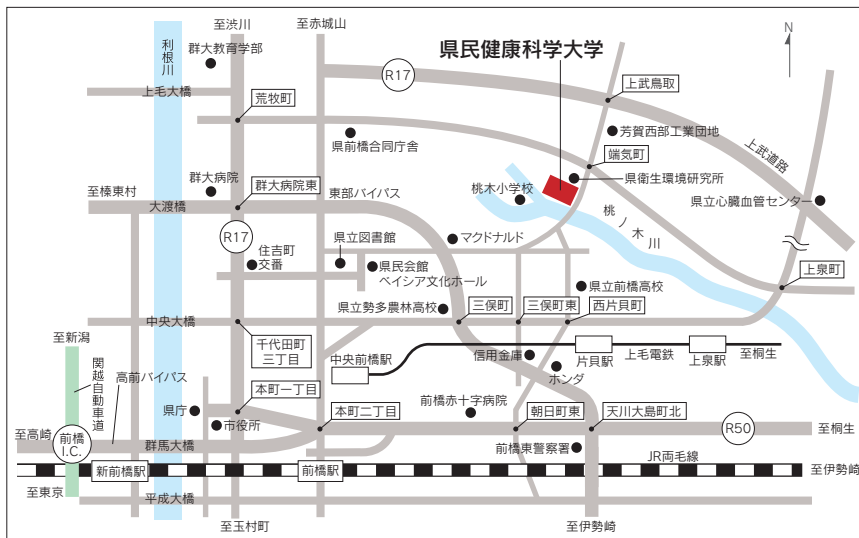
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問い合わせ・お申し出先

テレメールカスタマーセンター IP電話 **050-8601-0102** (受付時間 9:00~18:00)まで

次の各窓口でも請求できます。

県民健康科学大学事務局・群馬県庁2F県民センター・群馬県行政県税事務所
群馬県(保健)福祉事務所



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋I.C.から約20分



群馬県立県民健康科学大学大学院
Gunma Prefectural Graduate School of Health Sciences

〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211(代表) Fax.027-235-2501

URL <http://www.gchs.ac.jp/> E-mail: info@gchs.ac.jp